

ボールの特性レポート

BALL REPORT



| | | | | | |
|------|-----------|-----|-------|-----------------------|-----------|
| ボール名 | ケミカル・エックス | 投球者 | 徳江 和則 | センター | 平和島スターボウル |
| RG | 2.490 | △RG | 0.035 | ●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール | |

テストボール：ケミカル・エックス

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

比較対照ボール：リスペクト

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

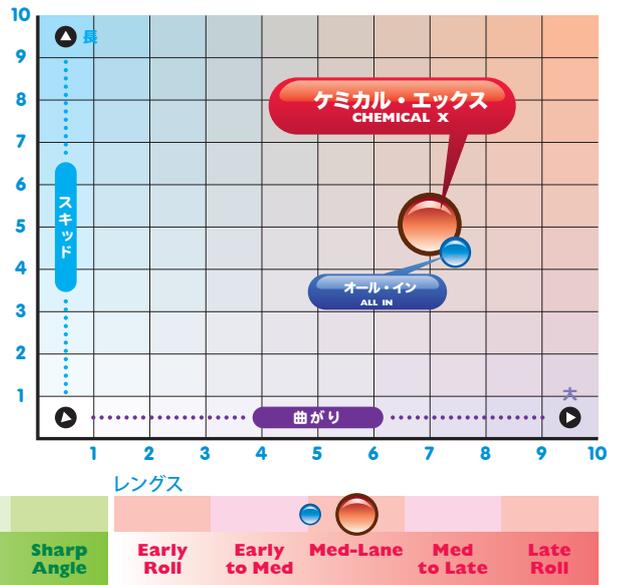
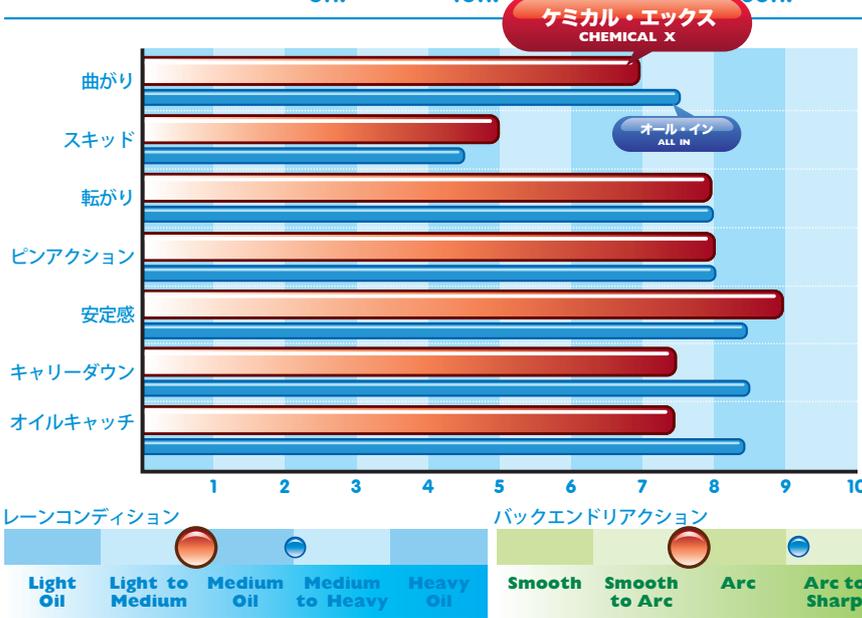
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

900Global社はMediumコンディションからMediumLightをカバーする領域としてPreferred Seriesの下の領域 Tour Preferred Seriesを新たに増やしました。今月発売するDARK MATTERと同じ領域になりますので、両者を比較しながら紹介致します。

このCHEMICAL XのスペックはTour Preferred Seriesで一番低い数値のCoverstockのS55 Solid Reactiveを採用しています。そしてPod Symmetric CoreというCHEMICAL Xだけに使用されている専用のCoreTechnologyを使い、コンセプト通りのイメージをリアクションとして表現しています。このCHEMICAL XはTour Preferred Seriesの中で曲りを求めて作られたコンセプトではなく、常にレーンと接地面の摩擦をコントロールできること、またタフなコンディションでボールを安定してポケットへ集めたいときに使用される、言わば派手さよりも確実なコントロールを目的としています。DARK MATTERはどちらかといえば走って先でaggressiveな動きを特徴としているので、フランチャイズコンディションでかなり良いイメージで投球できるでしょう。それは外と中に投球幅(補正幅)を感じられるからです。それがスポーツコンディションのような補正幅が狭く感じられると、かえって先で動くボールは扱いづらくなります。そういうコンディションにこのCHEMICAL Xは大活躍します。フランチャイズでは出し戻しがしやすいDARK MATTERのようなボールには一歩性能的に譲るとしても、コンディションがタフになればなるほどこのCHEMICAL Xが優位になります。この意味は実際CHEMICAL Xを使い、そういうコンディションに対峙したときにその意味を知ることでしょう。あなたもボールをコントロールし、スムーズなトラクションを武器にタフなコンディションを制覇しましょう。

特記事項

CHEMICAL Xは専属契約のクリスバーンスからの影響が強くてたトーナメント志向のPerformanceの一つ。トーナメントプレイヤーは是非バッグに入れておきたいボールです。